

令和7（2025）年度

「運営に関する計画・自己評価」

最終評価

大阪市立磯路小学校

令和8（2026）年2月

大阪市立磯路小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

I 学校運営の中期目標

現状と課題

令和6年度大阪市小学校学力経年調査の結果より、学校(3~6年)として4教科(国・社・算・理)の標準化得点は、大阪市の平均と比較し、3・4年生が上回り、5・6年生がやや下回った。(3年生 R6:105.3、4年生 R5:113→R6:103、5年生 R5:95.8→R6:94.5、6年生 R5:89.3→R6:87.3)

6年生の全国学力学習状況調査では、全国平均を1とすると、本校は、国語科0.92、算数科0.91という結果となった。

研究においては、国際理解教育を研究領域として位置づけ、「互いの人権を尊重し、多様性を認め合い、共に生きる子どもを育てる」ことを研究主題とし、研究をすすめてきた。「ことばとコミュニケーション」「多文化共生」「環境問題」「平和学習」などの学習を通して、研究主題に迫ることができたと考える。

また、これまでの学校教職員の取り組みと家庭との連携、地域の協力の積み重ねがあり、安全・安心な環境で児童は学校生活をおくることができている。

令和6年度末の「いじめアンケート」における調査では、いじめの件数は2件となっている。いじめを把握する度に、学級担任が丁寧に聞き取りを行い、その都度指導を行い、いじめの解消に努めている。また、児童の規範意識は高く、学校アンケートでの「時間を守って動いている」の項目において肯定的に回答する児童の割合は、90.3%(前年度89.7%)であった。

児童が安心して学校生活をおくするためには、学級の雰囲気非常に重要である。自分の存在が認められ、友達存在を大切にできる価値観のある場で過ごすことにより、自己肯定感を持つことになる。「だれもが安心して自分の考えや思いを主体的に話せる学級の雰囲気づくりをめざす」ことを重点的な取り組み内容とした。学校生活アンケートで「自分にはよいところがある」の項目で、肯定的な回答をする児童の割合は85.9%(前年度86.8%)と高い評価となっている。しかし、逆に約14%の児童は、「自分にはよいところがない」という思いをもっている。全ての児童が自己肯定感をもてるようにし、人間関係を良好にするための取り組みを充実させていく。

学びを支える教育環境の充実については、本校は令和4年度に、SKYMENU CLOUD 研究推進校となり、SKY 株式会社インストラクターの支援を受け研究をすすめた。今年度も取り組みを継続してすすめ、低学年においては、児童の協働学習ツール skymenu cloud を活用した授業が充実した。高学年については、Google workspace の活用もすすみ、タブレット端末の家庭での持ち帰りも定着化しつつある。

中期目標

**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和7（2025）年度の学校アンケートにおける「学校は楽しい」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。（基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現）
  
- 令和7（2025）年度の学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を96%以上にする。  
（基本的な方向2 豊かな心の育成）
- 令和7（2025）年度の学力経年調査における「自分には、良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。  
（基本的な方向2 豊かな心の育成）

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- 令和7（2025）年度の全国学力学習状況調査における平均正答率の対全国比を1.00以上にする。  
（基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上）
  
- 令和7（2025）年度の全国体力・運動能力等調査における体力合計点の全国比を男女とも1.00以上にする。  
（基本的な方向5 健やかな体の育成）

**【学びを支える教育環境の充実】**

- 授業日において、児童の80%以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の半数を超える。（ただし、学校行事等ICT活用が適さない日を除く）  
（基本的な方向6 学びを支える教育環境の充実）
  
- 「学校園における働き方改革プラン」に掲げる教職員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を50%以上にする。

※基準1

次のア及びイの基準を満たすこと

ア 1か月の時間外勤務時間が45時間を超えないようにすること

イ 1年間の時間外勤務時間が360時間を超えないようにすること

（1か月の時間外勤務時間が30時間を超えないようにすること

360時間÷12か月＝30時間）

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 全市共通目標（小・中学校）

・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。  
R6:86.3% R7:86%

・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

R6:1.2% R7:1%

・年度末の行内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

※改善とは、次の状態の場合をいう

R6:1名改善 R7:1名改善

#### 1. 出席日数の増

2. ICTの活用による、本人、保護者と学校がつながる回数が増えた

3. 養護教諭、スクールカウンセラー、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。または、継続してつながるようになった。

#### 学校園の年度目標

・「学校生活アンケート」（児童向け）で「学校は楽しい」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と答える児童の割合を90%以上にする。

R6:91.3% R7:94.5%

・「学校評価アンケート」（保護者向け）で「学校は誰もが安心して自分の考えや思いを話せる学級の雰囲気づくりに努めている」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と答える保護者の割合を80%以上にする。

R6:92.0% R7:92.6%

・「学校生活アンケート」（児童向け）で「戦争や平和についての学習を通して平和の大切さがわかった」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と答える児童の割合を90%以上にする。

R6:98.6% R7:96%

## 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

### 全市共通目標

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を39%以上にする。  
R6:43.1%→R7:42.0%
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。  
R6 国語 4～6年のうち、該当学年なし  
算数 4～6年のうち、2学年が1ポイント以上向上  
R7 国語 4～6年のうち、1学年が1ポイント以上向上  
算数 4～6年のうち、1学年が1ポイント以上向上
- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。  
R6:70.6%→R7:83.6%
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。  
R6:67.8%→R7:82.3%
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を65%以上にする。  
R6:63.1%→R7:73.4%

### 学校年度目標

- ・「学力経年調査」の国語科において、校内平均点と大阪市平均との差を昨年度より縮めるようにする。  
R6 4～6年のうち、1学年で達成  
R7 4～6年のうち、1学年で達成
- ・「学校評価アンケート」（保護者向け）で「学校は、「うがい・手洗い」「早寝・早起き・朝ごはん」など基本的な生活習慣の指導を行っている。」と「学校は、日々の給食や栄養指導などを通して、食に関する指導を行っている。」の項目について、肯定的な回答の割合が90%以上であることを継続する。  
R6:93.3% 96.6%  
R7:94.8% 97.8%
- ・「学校評価アンケート」（児童向け）で「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きだ」の項目において、肯定的な回答の割合が、80%を上回るようにする。  
R6: 85.1%→R7:91.9%

## 【学びを支える教育環境の充実】

### 全市共通目標

・授業日において、児童の80%以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の半数を超えるようにする。（ただし、学校行事等 ICT 活用が適さない日を除く）

R6:73.4%

R7:81.8%

・「学校園における働き方改革プラン」に掲げる教職員の勤務時間に関する基準Ⅰを満たす教員の割合を50%以上にする。

R6:62.5% R7:71.4%

※基準Ⅰ

次のア及びイの基準を満たすこと

ア 1か月の時間外勤務時間が45時間を超えないようにすること

イ 1年間の時間外勤務時間が360時間を超えないようにすること

（1か月の時間外勤務時間が30時間を超えないようにすること

360時間÷12か月＝30時間）

### 学校年度目標

・「学校評価アンケート」（保護者向け）で「学校は、ICT機器（パソコンやタブレット等）を活用した授業を行っている。」の項目について、肯定的な回答の割合を、昨年度に引き続き90%以上維持できるようにする。

R6:98.6% R7:96.3%

・「学校評価アンケート」（児童向け）で「タブレットを使った学習が好きだ」（1～3年）「タブレットを使って学習することのよさに気づいている」（4～6年）の項目について肯定的な回答の割合が90%以上にする。

R6 1～3年 95.5% 4～6年 95%

R7 96.7% 95%

・1年間の時間外勤務時間が360時間を超えない教職員の割合を50%以上にするようにすること

（1か月の時間外勤務時間が30時間を超えないようにすること

360時間÷12か月＝30時間）

R6:58.3% R7:71.4%

### 3 本年度の自己評価結果の総括

本年度行った自己評価では、年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標14項目中、A評価が5項目、B評価が9項目という結果になった。

『子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現』では、5項目中2項目がA、3項目がBとなり、概ね年度当初の年度目標は達成されたためB評価とした。その中でも取組内容④学校アンケート「自分にはよいところがある」の項目において肯定的な回答が89%となっており、目標の77%を大幅に上回ることができたのでA評価とした。全体の自尊感情を高めることができていると考える。また、取組内容③「災害に対しての意識を高め、命を守るために適切な行動ができる」では、地域と連携した計画的継続的な取り組みの成果で、子どもたちの意識の高まりが大きく見られたのでA評価とした。その他の項目については、指標を達成していたためB評価とした。

『心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上』では、5項目中、3項目がA、2項目がBとなり、概ね年度当初の年度目標は達成されたためB評価とした。取組内容①学校アンケート「社会科（生活科）の学習が好きだ」の項目において肯定的な回答が79.9%となっており、目標の58%を大幅に上回ることができたのでA評価とした。取組内容⑤学校アンケート「運動やスポーツをすることが好きだ」の項目において、校舎建て替え工事で運動場がない状況で、肯定的な回答が91.9%となっており、目標の80%を大幅に上回ることができたのでA評価とした。

全市共通目標のなかで「小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。」項目においては、1ポイント向上したのは1学年のみで、2学年は下がっている。

また、小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を65%以上にすることについては、73.4%となっており、目標を達成できた。

『学びを支える教育環境の充実』では、4項目中、4項目ともBとなり、概ね年度当初の年度目標は達成されたためB評価とした。取組内容①学校アンケート「ICT機器を活用した授業」の項目においては、肯定的回答が96.3%となっており、「90%以上を維持する」を達成することができた。取り組み内容②「教育ビッグデータの蓄積・活用」については、「心の天気」の入力も定着してきており、デジタルドリルやスタディサプリの活用もすすんだためB評価とした。取組内容③「働き方改革の推進」では、教職員配付書類のペーパーレス化もすすみ、各種アンケートについては、ICT機器を活用することで集計時間の短縮を図れた。そのためB評価とした。取組内容④「家庭・地域等との連携」では、学校ホームページも全市リニューアルされ発信も充実するようになり、また、地域や保護者と連携して様々な取り組みを継続充実させることができたためB評価とした。

大阪市立磯路小学校 令和7(2025)年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>全市共通目標（小・中学校）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。 <b>R6:86.3% R7 86%</b></li> <li>・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 <b>R6:1.2% R7:1%</b></li> <li>・年度末の行内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 ※改善とは、次の状態の場合をいう <b>R6:1名改善 R7:1名改善</b></li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 出席日数の増</li> <li>2. ICTの活用による、本人、保護者と学校がつながる回数が増えた</li> <li>3. 養護教諭、スクールカウンセラー、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。または、継続してつながるようになった。</li> </ol> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校生活アンケート」（児童向け）で「学校は楽しい」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と答える児童の割合を90%以上にする。 <b>R6:91.3% R7:94.5%</b></li> <li>・「学校評価アンケート」（保護者向け）で「学校は誰もが安心して自分の考えや思いを話せる学級の雰囲気づくりに努めている」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と答える保護者の割合を80%以上にする。 <b>R6:92.0% R7:92.6%</b></li> <li>・「学校生活アンケート」（児童向け）で「戦争や平和についての学習を通して平和の大切さがわかった」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と答える児童の割合を90%以上にする。 <b>R6:98.6% R7:96%</b></li> </ul>	<p><b>B</b></p>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 みんなが気持ちよく安全に学校生活を送るために、学校のルールを守るという意識を育てる。</p> <hr/> <p>指標 ・「学校生活アンケート」（児童向け）の「時間を守って動いている」の項目で「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する児童（全学年）の割合が80%を超えるようにする。 低学年（チャイムの鳴り始めて動く） 中学年（チャイムが鳴り終わるまでに座る） 高学年（チャイムで授業が始まる） R6:90.3% R7:91.2%</p>	<b>B</b>
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ・児童の特性や家庭の背景を理解する力を高める。 ・Q-U「楽しい学校生活を送るためのアンケート」を実施し、学級集団の分析や児童理解を深める。</p> <hr/> <p>指標 ・児童理解の機会を毎月1回以上設ける。 ・2回目のQ-Uにおいて学級生活不満足群の割合を1回目より減らす。</p>	<b>B</b>
<p>取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 「防災計画」に基づき、災害に対する意識を高め、命を守るために適切な行動がとれるようにする。</p> <hr/> <p>指標 ・火災・地震（津波）・防犯・引き渡しの訓練（台風）を年5回実施する。 ・地域と協力して防災教室を実施する。</p>	<b>A</b>
<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】 だれかとの比較ではなく自分ならではの良さを知り、自己肯定感を高める。</p> <hr/> <p>指標 ・「学校生活アンケート」（児童向け）の「自分にはよいところがある。」の項目で、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する児童（全学年）の割合が、77%を超えるようにする。 R6:85.9% R7:89%</p>	<b>A</b>
<p>取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成】 人権を尊重する教育を推進する。</p> <hr/> <p>指標 ・人権教育年間指導計画を作成し、系統立てた取り組みを行う。 ・前年度の実践をふまえて、各学年で平和学習の取り組みを年1回以上行う。</p>	<b>B</b>

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

### 年度目標

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合が86.2%であり、目標の80%以上を超えた。
- ・「学校生活アンケート」（児童向け）で「学校は楽しい」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と答える児童の割合が91.2%であり、目標の90%を超えた。
- ・「学校評価アンケート」（保護者向け）で「学校は誰もが安心して自分の考えや思いを話せる学級の雰囲気づくりに努めている」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と答える保護者の割合が92.6%であり、目標の80%以上を超えた。
- ・「学校生活アンケート」（児童向け）で「戦争や平和についての学習を通して平和の大切さがわかった」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と答える児童の割合が96.0%であり、目標の90%を超えた。

### 取組内容①

- ・「学校生活アンケート」（児童向け）の「時間を守って動いている」の項目で「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する児童（全学年）の割合が91.2%と目標の80%を大きく上回り、達成することができた。
- ・日々の声かけや指導もあり、チャイムを意識して行動する児童が増えている。

### 取組内容②

- ・児童理解の機会を毎月1回以上設け、情報を共有し、児童に必要な関わり方を共通理解することができた。
- ・2回目のQ-U「楽しい学校生活を送るためのアンケート」では、要支援の児童数は全体を通して1名増えていたが、要支援児童が別児童と入れ替わっていたことから、対策を講じることができたと考えられる。

### 取組内容③

- ・防災計画に基づいて、火災・地震（津波）・防犯・引き渡しの訓練（台風）を年5回計画的に実施することができた。
- ・地域の方による防災教室も実施され、災害を身近な出来事と捉えることで、児童の災害に対する意識を高めることができている。
- ・図書室で防災についての本を借りる、家族に学んだことを伝えるなど、学びを生かそうとする場面も増えている。

### 取組内容④

- ・「学校生活アンケート」（児童向け）の「自分にはよいところがある。」の項目で、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する児童（全学年）の割合が、89%であり、目標の77%を超えた。
- ・学級での「いいところみつけ」といった活動だけでなく、普段の授業の中での声かけ、活躍の場づくりなど、日々の学校生活を通して、多くの児童が自分のよさに気づくことができている。

#### 取組内容⑤

- ・人権教育年間指導計画を作成し、系統立てた取り組みを行うことができた。
- ・各学年での取り組みにばらつきはあるものの、平和学習の取り組みや6年生の平和集会での発表、千羽鶴作成の取り組みなど、様々な取り組みを通して平和の大切さを学ぶことができている。

#### 今後の改善点

#### 取組内容①

- ・アンケート結果では肯定的な回答が多いが、チャイムを守れていない児童もいるので、継続して声かけ、指導が必要である。
- ・発達段階に応じて、チャイムを意識して行動できるように、目標を掲示するなど視覚化する。
- ・外遊びの際、運動場から時計が見えにくく時刻を確認しにくいいため、児童が自分で時間を意識して行動できるように時計を鉄棒付近に設置するなどの設備を整える。

#### 取組内容②

- ・Q-Uを学級経営により反映していけるように共通理解の場を設け、児童理解を深められるようにする。

#### 取組内容③

- ・今後も計画的に訓練を行う。
- ・次年度は平日の引き渡し訓練を予定している。いつ起こるかわからない災害に備え、より防災意識を高められるよう今年度の反省を生かして訓練できるようにする。

#### 取組内容④

一人ひとりをしていねいにみて、これからも児童が自分のよさに気づき、自己肯定感を高められるようにする。

#### 取組内容⑤

- ・各学年で取り組みはしているが、計画通りに進められていないこともあるので、最初にしっかり計画を立てることが大切である。
- ・全体共有の場での学びやこれまでの実践を次年度に生かすようにする。

大阪市立磯路小学校 令和7(2025)年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した  
 C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標(小・中学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を39%以上にする。 R6:43.1%→R7:42.0%</li> <li>・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>R6 国語 4～6年のうち、該当学年なし</li> <li>算数 4～6年のうち、2学年が1ポイント以上向上</li> <li>R7 国語 4～6年のうち、2学年が1ポイント以上向上</li> <li>算数 4～6年のうち、2学年が1ポイント以上向上</li> </ul> </li> <li>・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。 R6:70.6%→R7:83.6%</li> <li>・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。 R6:67.8%→R7:82.3%</li> <li>・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を65%以上にする。 R6:63.1%→R7:73.4%</li> </ul> <p><b>学校年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学力経年調査」の国語科において、校内平均点と大阪市平均との差を昨年度より縮めるようにする。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>R6 4～6年のうち、1学年で達成</li> <li>R7 4～6年のうち、1学年で達成</li> </ul> </li> <li>・「学校評価アンケート」(保護者向け)で「学校は、「うがい・手洗い」「早寝・早起き・朝ごはん」など基本的な生活習慣の指導を行っている。」と「学校は、日々の給食や栄養指導などを通して、食に関する指導を行っている。」の項目について、肯定的な回答の割合が90%以上であることを継続する。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>R6:93.3% 96.6%</li> <li>R7:94.8% 97.8%</li> </ul> </li> <li>・「学校評価アンケート」(児童向け)で「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きだ」の項目において、肯定的な回答の割合が、80%を上回るようにする。 R5:84.9%→R6:85.1%→R7:91.9%</li> </ul>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科（生活科）において対話する活動の充実を図り、コミュニケーション力を高める。</li> </ul> <p>指標 ・「学校評価アンケート（児童向け）」項目「社会科（生活科）の学習が好きだ」の肯定的回答を58%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">R7:79.9%</p>	A
<p>取組内容②（基本的な方向4 だれ一人取り残さない学力の向上）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合う活動の充実。表現（書いたもの、意見、作品など）の交流、相互評価を積極的に行う。</li> </ul> <p>指標 ・学校評価アンケート（児童向け）項目「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対して、最も肯定的な回答を39%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">R5:46.6%→R6:43.1%→R7:40.8%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業や公開授業を通して、交流の在り方を研修する。</li> </ul>	B
<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育の充実を図る。・C-NETを積極的に活用する。</li> </ul> <p>指標 ・英語モジュールを週に2回実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校評価アンケート（児童向け）」項目「外国語（英語）の学習が好きだ」に対して、肯定的な回答を75%以上にする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">R5:76.9%→R6:70.2%→R7:90.2%</p>	B
<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の給食指導や栄養指導などを通して、食に関する指導を実施する。</li> <li>・健康に対する意識を高めるために、保健指導などを実施する。</li> </ul> <p>指標 ・各学年で2回以上の栄養指導ないし保健指導を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育だよりを年10回発行し、食に対する保護者の関心を高める。</li> <li>・保健だよりを年10回発行し、健康に対する保護者の関心を高める。</li> </ul>	A
<p>取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できる喜びや達成感を感じられる学習</li> <li>・活動を通して運動への意欲を高める。意欲的、協働的な姿（互いに励まし合う姿、作戦を話し合う姿、休み時間に進んで練習する姿など）を個々に評価する。</li> </ul> <p>指標 ・「学校アンケート」（児童向け）で「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きだ」の項目について肯定的な回答を80%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">R5:84.9%→R6:85.1%→R7:91.9%</p>	A

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

### 【全市共通目標】

- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合が42.0%となり、目標の39%を上回ることができた。しかし、R6:43.1%より少し下がってしまった。
- ・ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較し、国語・算数ともに、4～6年のうち1学年が前年度より1ポイント向上したが、2学年は下がってしまった。
- ・ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合が83.6%となり、目標の86%を下回ってしまったが、R6:70.6%と比べると13%向上させることができた。
- ・ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合が82.3%となり、目標の78%を上回ることができた。さらに、R6:67.8%から15%近く向上させることができた。
- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合が73.4%となり、目標の65%を上回ることができた。運動場が使えない状況でも、R6:63.1%より10%以上向上させることができた。

### 【学校年度目標】

- ・ 「学力経年調査」の国語科において、4～6年のうち、1学年で校内平均点と大阪市平均との差を昨年度より縮める（広げる）ことができた。しかし、2学年では、大阪市平均よりさらに下回ってしまった。
- ・ 「学校評価アンケート」（保護者向け）で「学校は、「うがい・手洗い」「早寝・早起き・朝ごはん」など基本的な生活習慣の指導を行っている。」の項目について肯定的な回答は94.8%、「学校は、日々の給食や栄養指導などを通して、食に関する指導を行っている。」の項目について肯定的な回答は97.8%であり、90%以上であることを継続するという目標を達成できた。理由としては、健康ふり返り週間に全校で取り組み、家庭にも協力してもらったり、保護者からもコメントをもらったりすることで、学期に1度だが基本的な生活習慣を見直す機会になったと考えられる。  
R5:95.7% 97.5%  
R6:93.3% 96.6%  
R7:94.8% 97.8%
- ・ 「学校評価アンケート」（児童向け）で「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きだ」の項目において、肯定的な回答の割合は91.9%であり、目標の80%を上回ることができた。  
R5:84.9%→R6:85.1%→R7:91.9%

○取組内容①

- ・「学校評価アンケート（児童向け）」項目「社会科（生活科）の学習が好きだ」の肯定的回答は79.9%で、目標を大きく上回った。（目標58%以上）
- ・社会科の授業の中で、課題について教科書や資料集を基に、話し合い活動を行い、課題解決をするといった問題解決学習を行うなど、社会科の授業は充実させることができた。
- ・研究を通して学んだことを日々の授業づくりに活かすことで、社会科（生活科）が好きな児童が増えたと考えられる。

○取組内容②

- ・学校評価アンケート（児童向け）項目「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対して、最も肯定的な回答は40.8%で、目標を上回ることができた。（目標39%以上）

R5:46.6%→R6:43.1%→R7:40.8%

- ・SKYMENUの気づきメモ機能を活用し、授業のまとめ・振り返りを行った。授業を通してどんなことを感じたのか、考えたのか、発見したのか等について自分の考えを蓄積していくことができた。グループ機能を活用することで互いの考えを交流する様子も見られ、互いのコメントに対して「いいね」を送り合うことができた。児童の中には、気づきメモ機能を活用して、互いに問題を出し合い、解答し合う様子が見られた。スクリーンキャプチャ（スクリーンショット）機能を使い、発表ノートで作成した成果物の画面を切り取り、気づきメモに投稿することができる児童が増え、自分の考えや成果物の共有の様子が発展が見られた。
- ・すべての教科に亘って、話し合い活動の機会を多くとってきた。ペア、グループ、全体と話し合いを広め、他者の意見とすり合わせることで、より一層、学びを深めることができた。
- ・今年度の目標は達成したが、年々数値が下がっており（R5:46.6%→R6:43.1%→R7:40.8%）、さらに、1学期48.9%→2学期41.5%→3学期40.8%と学期ごとにも徐々に下がってしまった。来年度は、授業のなかで価値づけていったり、話し合いの仕方をより工夫したりする必要がある。

○取組内容③

- ・「学校評価アンケート（児童向け）」項目「外国語（英語）の学習が好きだ」に対して、肯定的な回答は90.2%であり、目標を大きく上回ることができた（目標75%以上）。また、昨年度（70.2%）と比較しても20%上昇した。学期ごとの数値を見ても、1学期85.1%→2学期88.4%→3学期90.2%と学期ごとに上がることができた。
- ・週2回のモジュールを実施し、英語教育の充実を図り、児童たちもモジュールの時間を楽しみにしていた。

- ・C-NET との関わりや週2回のモジュール、給食時の英語クイズなど英語にふれる機会がたくさんあった。
- ・C-NETと授業の進め方を相談し、児童がより楽しめる授業を行った。また、C-NETの活用の年間計画も立て、低学年にもC-NETの授業を実施し、全学年で積極的に活用した。
- ・行事等で忙しくなると週2回のモジュールの確保が難しい。また、3連休明けの火曜日の朝は、連絡事項も多く、モジュールを実施すると、その後に朝の会を行い、1時間目の授業に支障をきたすことがある。

#### ○取組内容④

- ・各クラス4月・9月・1月の発育測定時に保健指導実施した。また、2・4・5・6年生には45分の歯科保健指導も実施した。
- ・ほけんだよりは計画的に発行し、臨時号や対象学年向けのほけんだよりも含めると、3月までに18回発行した。
- ・健康ふりかえりカードを学期1回行い、家庭にも協力してもらったり、保護者からもコメントをもらったりすることで、保護者の健康に対する関心が深まった。
- ・毎月の食育だより、保健だよりを発行することで目標を達成した。また、食育だより、保健だよりだけでなく、給食の委員会の放送や掲示、保健室前の掲示などでも児童の興味関心も高めることができた。
- ・各学年で年2回以上の栄養指導が行われた。給食時に、栄養教諭が各教室に回り、児童に献立についての説明などをすることで、児童の食に対する興味関心が高まり、それが保護者の関心にもつながった。

#### ○取組内容⑤

- ・「学校アンケート」（児童向け）で「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きだ」の項目について肯定的な回答は91.9%であり、目標を10%以上上回った。また、運動場が使えず、遊ぶ機会が減少している中でも、昨年度、一昨年度よりも数値を上げることができた。

**R5:84.9%→R6:85.1%→R7:91.9%**

- ・各学年の体育科での工夫や、委員会の取り組み（大谷グローブなど）の効果があったと考えられる。
- ・運動する機会は、少なくなったかもしれないが、少なくなったからこそ運動する時間を大切にできるようになった。寒い冬でも、その機会を大切に、寒さに負けず、外で遊ぶ児童が増えた。学期ごとにも数値が上げることができた。1学期88%→2学期91.3%→3学期91.9%

### 今後の改善点

- ① 研究教科によって、アンケートの内容を考える。
- ②最も肯定的に答える回答が年度ごと学期ごとに減ってしまったので、話し合いの仕方をより工夫したり、授業のなかで価値づけていったりする必要がある。
- ③週2回のモジュールを行う。(モジュールの実施時間をもう1度考え直す?)  
C-NETの活用の仕方の年間計画を考える。
- ④継続的に取り組んでいく。
- ⑤校舎の建て替えのため、学校で十分に運動ができていない状況ではあるが、来年度も、運動をできる機会を作り、積極的な参加を促すようにする。さらには、運動が苦手、普段運動をしていない児童も参加できるように工夫していく。

大阪市立磯路小学校 令和 7(2025)年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p><b>全市共通目標（小・中学校）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業日において、児童の 80%以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 73.5%を超えるようにする。（ただし、学校行事等 ICT 活用が適さない日を除く） R6:73.4% R7:81.8%</li> <li>・「学校園における働き方改革プラン」に掲げる教職員の勤務時間に関する基準Ⅰを満たす教員の割合を 62.6%以上にする。 R6:62.5% R7:71.4%</li> </ul> <p>※基準Ⅰ 次のア及びイの基準を満たすこと ア 1か月の時間外勤務時間が45時間を超えないようにすること イ 1年間の時間外勤務時間が360時間を超えないようにすること （1か月の時間外勤務時間が30時間を超えないようにすること 360時間÷12か月＝30時間）</p> <p><b>学校年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校評価アンケート」（保護者向け）で「学校は、ICT 機器（パソコンやタブレット等）を活用した授業を行っている。」の項目について、肯定的な回答の割合を、昨年度に引き続き 90%以上維持できるようにする。 R6:98.6% R7:96.3%</li> <li>・「学校評価アンケート」（児童向け）で「タブレットを使った学習が好きだ」（1～3年）「タブレットを使って学習することのよさに気づいている」（4～6年）の項目について肯定的な回答の割合が 90%以上にする。 R6 1～3年 95.5% 4～6年 95% R7 96.7% 95%</li> <li>・1年間の時間外勤務時間が360時間を超えない教職員の割合を 50%以上にするようにすること （1か月の時間外勤務時間が30時間を超えないようにすること 360時間÷12か月＝30時間） R6:58.3% R7:71.4%</li> </ul>	B
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	達成状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>ICTを活用した児童の「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推進する。</p>	B

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタルドリル navima を活用する（家庭学習や空き時間の利用）。</li> <li>・ Google workspace や skymenu cloud 等の協働学習ツールを活用した授業を、週に3回以上設ける。</li> <li>・ 児童の ICT 活用能力（基本操作能力、インターネットを活用した情報収集、Google workspace や skymenu cloud の基本操作能力等）を向上させる。</li> <li>・ 校内 ICT 研修会で教職員の ICT 活用指導力を向上させる。</li> <li>・ 学校と家庭を双方向に繋いだ学び（オンライン学習、対面とオンラインのハイブリッドな授業）を充実させる。</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>教育ビッグデータの蓄積・活用を推進する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「心の天気」（児童の心の状態の可視化）の入力を毎日実施し、日々を入力率を80%以上にする。</li> <li>・ 児童のデジタルドリルの活用結果（スタディログ）から、児童の学習理解度を把握し、授業内容の計画に活かす。</li> </ul>	B
<p>取組内容③【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>働き方改革を推進し、作業の効率化を図る。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員配付文書等のペーパーレス化を推進する。（SKIP 連絡掲示板等の活用）</li> <li>・ 職員会議や部会にかかる時間の短縮化を図る。（要点や変更点のみ伝える等）</li> </ul>	B
<p>取組内容④【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <p>地域による学校支援の取組や、学校・地域・家庭の連携による様々な取組を推進する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域・保護者に対して学校の取り組みを発信する。週に3回以上ホームページの学校日記を更新する。</li> <li>・ 地域や保護者と協力・連携し、防災学習や読み聞かせ会、昔遊び体験、しめ縄体験等の学校行事を実施する。また、児童の安全な登下校の実施のため、見守り隊等、地域の協力を依頼し、連携を図っていく。</li> </ul>	B

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

### 【年度目標】

○磯路小学校における「学習者用端末の日別利用率が80%以上の日数」の月間達成率は、5～12月において累計81.1%となっており、大阪市教育振興基本計画で掲げられている目標、50%を上回ることができた。前年度の73.4%も上回っており、十分に活用できたと言える。

○「3学期学校評価アンケート」（保護者向け）で「学校は、ICT機器（パソコンやタブレット等）を活用した授業を行っている。」の項目について、肯定的な回答の割合が96.3%以上となっており、目標の90%を上回っている。

○「3学期学校評価アンケート」（児童向け）で「タブレットを使った学習が好きだ」（1～3年）の項目について、肯定的な回答の割合が96.7%、「タブレットを使って学習することのよさに気づいている」（4～6年）の項目について、肯定的な回答の割合が95.0%となっており、共に目標の90%を超えている。

○1年間の時間外勤務時間が360時間を超えない教職員の割合を50%以上にすることについて、1か月の時間外勤務時間が30時間を超えない職員は12月78.5%となっており、目標を達成している。

### 取組内容①

・デジタルドリル navima の活用については、空き時間を上手く利用し、日々活用することができた。家庭学習として活用することができており、児童の基礎学力の定着・向上に役立った。なかよし学級における学習において活用することができた。

・学級における授業や委員会活動において、Google classroom や SKYMENU Cloud、Canva 等、様々な協働学習ツールを活用し、資料共有をはじめ、児童の考えや取組の蓄積・共有、また協働的な学びに役立てることができた。児童は、協働学習ツールの操作方法を理解することができた。

・協働学習ツールを活用した授業を、週に3回以上設けることができていた学級とできていない学級が見られた。

・児童のICT活用能力（タイピング等の基本操作能力、インターネットを活用した情報収集力など）が向上した。低学年では、タッチペンの利用が端末の扱いやすさに繋がった。高学年では、ブラインドタッチで文字を入力することができる児童が見られた。

・各学期、校内ICT研修会を実施することができた。多くの教職員がICT研修会に参加しており、ICT活用に対する教職員の意識の向上が見られた。教職員の授業におけるICT活用に関する知見は広がってきており、授業でICTを活用しようと挑戦する教職員が見られた。

・計画通り、全学年オンライン学習体験を実施することができた。オンライン学習体験で得た経験を活かし、欠席児童が家庭より授業に参加できるようにすることができた。

### 取組内容②

・心の天気の前学年の登録状況は、5月 39.9%、6月 50.0%、7月 52.8%、8月 38.3%、9月

48.2%、10月 54.3%、11月 57.6%と徐々に上昇してきているが、目標の80%を達成することはできなかった。

・学年別に見ると、3年生7月(89.3%)、5年生9月(81.1%)、10月(85.2%)、11月(80.5%)の4か月のみ80%以上の入力達成されていた。1年生は10月から本格的に心の天気の入力をスタートし、10月は59.2%、11月は77.5%と、先生方の取り組みにより順調なスタートをきることができた。

・心の天気で「雨マーク」や「雷マーク」が見られた時に、声掛けを行い、児童の不安に寄り添うことができた。しかし、学級指導に時間が割かれた場合、児童の心の天気の様子を確認する余裕や時間がないことがあった。

・デジタルドリル navima の児童の取組データをもとに、児童の学習理解度や取組状況の把握を行うことができている学級とそうではない学級があった。

#### 取組内容③

・職員会議後の児童理解において時間短縮できるよう工夫したり、会議の開始時間を早めたりすることで職員の時間外勤務は昨年度より改善されている。しかし、仕事の負担が大きい先生が一定数いるので、今後も改善が必要とされる。

・SKIP 連絡掲示板を活用することで、ペーパーレス化だけでなく、仕事の時間短縮につながっている。紙が必要な時は裏紙などの利用をできるように意識の向上を今後も図りたい。

#### 取組内容④

・中間評価を受け、主任会でホームページについて話し合った。その結果、教職員で協力してホームページを日々更新し、地域・保護者に対して学校の取り組みを発信することができている。

・防災学習、しめ縄体験や昔遊びなど様々な行事において、地域・保護者と連携して交流を重ね、学校行事を実施することができた。

・見守り隊、PTA や地域の方と連携して見守り、安全な登下校が継続されている。

### 今後の改善点

#### 【年度目標】

○ICT 活用に関して、本年度の取り組みを生かし、次年度も授業における ICT 活用を進め、児童の情報活用能力の育成を進めていく必要がある。

#### 取組内容①

・児童の ICT 活用能力の向上、教職員の ICT 活用指導力の向上を図り、授業における ICT 活用がよりスムーズとなるようにしていく必要がある。

#### 取組内容②

・学級によって心の天気の入力状況に差があることが課題である。日々の入力率が80%以上となるように、取り組み方を工夫していく必要がある。

#### 取組内容③

・連絡事項を紙ベースかデータかを選択するのは、教職員それぞれの考え方が異なる。臨機

応変に対応していけばよいが、ペーパーレス化を全職員で意識していきたい。

取組内容④

・行事によってはどんな活動をいつ行っているのか当該学年ではない教職員が共通理解できていない面があったので、ホームページなどを参考に他学年などにも意識を向けていきたい。また、児童の発達段階に応じた取り組みができるよう、地域や保護者と連携をとっていく。